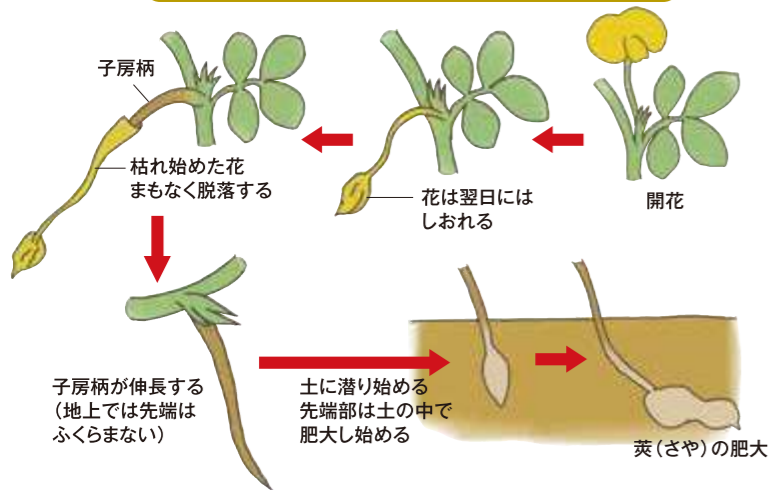




ラッカセイの実ができるまで



本葉が4枚程度になったら間引いて1本にします。
花がついたらマルチをはいでうねに追肥し、子房柄が刺さりやすいように周りを軽く耕して土を軟らかくします。マルチをしたままでも、子房柄はマルチを突き破って地面に刺さりますが、収量が減るのでおすすめしません。
7月下旬にも追肥をして、株元に土を寄せておきます。

管理・追肥・土寄せ

試し掘りして見て網目がハッキリとし、ふっくらした実なら収穫の合図



下葉が黄色くなり始めたなら収穫できます。試し掘りをしてみて、殻の表面に網目が出始めていたなら、株ごと掘り上げます。収穫が遅いと莢(さや)が子房柄から外れてしまい手間がかかります。収穫は霜が降りるまでに終わらせましょう。
ゆでて食べる場合は、早めに収穫して柔らかい実を楽しみましょう。試し掘りをしてみて、殻の表面に網目が出始めていたなら収穫目安です。味が落ちやすいので収穫後できるだけ早く、塩を入れたお湯で40分ほどゆでます。
炒って食べる場合は適期に収穫します。掘り上げた株を逆さにして根を上にし、5日〜1週間ほど畑で乾かします。その後、実を取ってネットに入れ、風通しの良い場所で乾かします。フライパン等で焦げないようにかき混ぜながら40分炒って、紙の上に広げて冷ませば「炒り落花生」ができます。

収穫

料理 ジーマーミ豆腐

●作りやすい分量：生ラッカセイ(むき実) / 1カップ(約200g)、水 / 1カップ(200cc)、片栗粉 / 30g

- ① ラッカセイは一晩水(分量外)に浸しておき、薄皮をむく。
- ② ①と水をミキサーにかけてドロドロにする。布巾で濾(こ)して絞って豆乳を取る。
- ③ 鍋に②と片栗粉を入れ、中火で鍋底が見えるくらいになるまで木べらなどでひたすら練り混ぜる。
- ④ 水でぬらした型に③を入れ、冷蔵庫で1時間ほど冷やし固める。

・わさび醤油や黒蜜などで召し上がれ! ・豆乳を絞ったカスはおからとして食べられます。



日本でラッカセイの栽培が始まったのは明治初期ですが、沖縄では「ジーマーミ(地豆)」と呼ばれもっと古くから作られていました。生のラッカセイで作る沖縄料理に挑戦!

おすすめ資材

「園芸鋏(ケース付き)」 965円(税込)

プロからアマチュアまで幅広く支持されている(株)近正の本職園芸用はさみ。鋭く強靱な刃でスムーズな切れ味!手の負担を軽減するコイルバネや、手になじむグリップで作業しやすい便利なはさみです。ケースも付いてお得!

〇お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までお気軽にどうぞ。



ほうさくClub!に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

- ◎中央店 ☎29-8177
- ◎さなだ店 ☎72-8072
- ◎しおだ店 ☎39-8118
- ◎東部店 ☎62-0665
- ◎まるこ店 ☎42-2977
- ◎西部店 ☎22-4091
- ◎よだくぼ南部店 ☎85-2400



ほうさくClub!

第214回 今月は

「ラッカセイ(落花生)」に挑戦!

★これがラッカセイのスケジュールだよ。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
						種まき				収穫		

Calendar

- 施肥基準 (1㎡あたり・一例)
- 苦土石灰150g
- BBN552号30g
- 堆肥1kg
- BB追肥N30号20g×2回

文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類で対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。



畑の準備・種まき

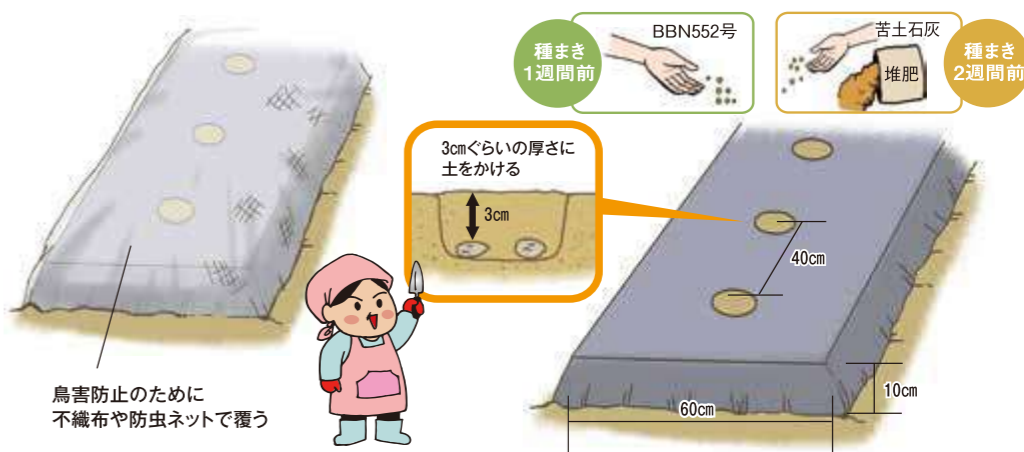
花が落ちて生まれる豆と書いて「落花生」。変な名前ですが、栽培するときの名の通りの豆のつき方をするので納得します。花が咲き終わると、花のつけ根あたりから根(このようにもの(子房柄)が伸びて地面に潜り、地中で豆が実ります。別名「地豆」「南京豆」などがあります。「地豆」は地中でできるから、「南京豆」は中国から渡来したからという意味ですが、原産は南米アンデス地域です。

種まきの2週間前に苦土石灰と堆肥を、1週間前に化成肥料をまいて深く耕しておきます。カルシウムが不足すると空っぽの莢(さや)だけの実ることがあるので、苦土石灰は忘れずに入れます。またマメ科の作物は窒素が多いと、いつまでも実らずに葉ばかりが多くなります。元肥の量にも注意が必要です。

うねは幅60cm、高さ10cmに作ります。株間は40cm取ります。極大粒の品種「おおまさり」の場合は、株間を40〜50cmにしましょう。黒マルチを張っておくと地温が上がるので生育が良くなります。

植穴に種を2つ植えます。種の上に3cm程度土がかかるようにしましょう。水分があまりすぎると種が腐ってしまうので、種を水に浸したり種まきの前後に水をやりをしたりはしません。

鳥害を防ぐために、種まき後すぐに不織布や防虫ネットをうねを覆い、本葉2枚の頃に外します。
育苗して苗を植えるのも鳥害予防に有効です。3号ポットに2つ種をまき、本葉2〜3枚になったら根鉢を崩さないように注意しながら植え付けます。



鳥害防止のために不織布や防虫ネットで覆う